



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月30日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 エヌエフ回路設計ブロック
 コード番号 6864 URL <http://www.nfcorp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 高橋 常夫
 (氏名) 大滝 正彦

TEL 045-545-8101

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	3,035	2.5	415	2.6	407	4.5	247	10.6
24年3月期第2四半期	2,961	10.5	404	86.6	390	90.7	223	95.9

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 235百万円 (7.0%) 24年3月期第2四半期 219百万円 (110.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	42.47	—
24年3月期第2四半期	38.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	8,458	4,894	57.9
24年3月期	8,700	4,746	54.6

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 4,894百万円 24年3月期 4,746百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,100	5.7	930	4.5	920	5.4	530	14.7	91.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	6,270,000 株	24年3月期	6,270,000 株
25年3月期2Q	445,827 株	24年3月期	444,752 株
25年3月期2Q	5,824,557 株	24年3月期2Q	5,827,790 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

① 業績

当第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年9月30日)においては、不透明感の続く米国、債務問題により低迷の続く欧州、減速の継続する中国をはじめとする新興国など、世界経済は全体的に減速傾向を辿りました。

わが国経済は、総じて回復基調にあったものの、輸出の減少、生産活動の落ち込みや、設備投資への慎重な動きの強まりなど、先行きへの不透明感が高まる状況が続きました。

このような経営環境下、当社グループにおきましては、従来からの強み製品に加え、LCRメータ ZM2375、ファンクションジェネレータ WF1947/WF1948、プログラマブル交流電源 EC750S/EC1000SA等の新製品を相次いで上市するとともに、環境・エネルギー関連等好調な市場にフォーカスして鋭意拡販に取り組みました。

この結果、当第2四半期における連結売上高は3,035百万円(前年同期比2.5%増)、損益面では経常利益407百万円(前年同期比4.5%増)、四半期純利益247百万円(前年同期比10.6%増)となりました。

② 営業の分野別状況

当第2四半期における営業の分野別状況は、次の通りであります。

《電子計測器分野》

電子計測器分野では、新製品LCRメータ ZM2375、ファンクションジェネレータ WF1947/WF1948を上市し、積極的なラインアップ拡充を図っていますが、当四半期におきましては、LCRメータやインピーダンスアナライザが産業機器市場等において堅調に推移したものの、強み製品である周波数特性分析器やファンクションジェネレータ等が全般的に需要面の力強さに欠ける状況で推移しました。

以上の結果、電子計測器分野の売上高は508百万円(前年同期比6.2%減)となりました。

《電源機器分野》

電源機器分野では、新製品プログラマブル交流電源 EC750S/EC1000SA、待機電力試験システム TS8810を上市するなど、積極的なラインアップ拡充を図っていますが、当四半期におきましては、プログラマブル交流電源のDPシリーズ、KPシリーズ等が家電市場等において堅調に推移しました。一方、保護リレー試験器の売上水準としては高く堅調であります。前期比ではマイナスとなった影響が大きく、全体としては力強さに欠ける状況で推移しました。

以上の結果、電源機器分野の売上高は1,224百万円(前年同期比4.7%減)となりました。

《電子部品分野》

電子部品分野は、当社が得意としているアナログ技術をベースにしたカスタム製品が主で、電力、鉄道、医療機器関連から航空・宇宙に至るまで幅広い市場のニーズにお応えすべく積極的に展開しており、当四半期におきましては、航空・宇宙関連市場等において堅調に推移しました。

以上の結果、電子部品分野の売上高は521百万円(前年同期比3.0%増)となりました。

《カスタム応用機器分野》

カスタム応用機器分野では、当社の強みである計測技術と電力制御技術を駆使した各種電源装置から各種システムに亘る環境・エネルギーソリューションを積極的に展開しており、当四半期におきましては、系統連系関連装置や太陽光発電関連装置等が堅調に推移しました。

以上の結果、カスタム応用機器分野の売上高は565百万円(前年同期比24.8%増)となりました。

《その他分野》

この分野は、修理・校正および商品の売上が主なものです。

その他分野の売上高は214百万円(前年同期比23.0%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産)

当第2四半期連結会計期間の総資産は棚卸資産が増加したものの、売上債権が減少したことなどにより、前連結会計年度と比較して241百万円減少し、8,458百万円となりました。

負債は前連結会計年度と比較して、389百万円減少し3,564百万円となりました。

純資産は前連結会計年度と比較して、147百万円増加し4,894百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ41百万円増加し、505百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは438百万円の増加となりました。

これは、棚卸資産の増加345百万円、仕入債務の減少36百万円、法人税等の支払138百万円などにより減少したものの、税金等調整前当期純利益406百万円、減価償却費115百万円、売上債権の減少599百万円、などにより増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは104百万円の減少となりました。

これは、固定資産の取得による支出98百万円などにより減少したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは292百万円の減少となりました。

これは、短期借入金の返済による支出130百万円、配当金の支払87百万円、社債の償還62百万円などにより減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

わが国経済は、東日本大震災からの復興需要の景気押し上げ効果の縮小や、輸出の弱含みを背景とした生産活動の落ち込み、海外経済の先行き不安、円高定着などの懸念点も依然として多く、当社グループを取り巻く環境は引き続き予断を許さないものと考えております。

このような状況のもと、当社グループでは環境変化にさらに俊敏に対応すべく事業全般の効果・効率を一層高め、新製品の継続的上市、新製品を含む強み製品の拡販、原価・経費低減等を引き続き強力で推進してまいります。

開発面では特に電子計測器、電源機器の製品ラインアップ強化を図ってまいります。また、販売面では各営業拠点の販売、サービス機能の拡充を図るとともに、顧客へのソリューション活動を強力で展開し、所期の業績の実現を目指してまいります。

なお、業績予想につきましては、前回業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

当該変更に伴う損益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,386,208	2,427,424
受取手形及び売掛金	2,584,413	1,984,453
商品及び製品	340,904	562,289
仕掛品	426,604	530,049
原材料	476,129	497,174
その他	252,741	237,074
貸倒引当金	△42,608	△35,230
流動資産合計	6,424,392	6,203,235
固定資産		
有形固定資産		
土地	963,185	963,185
その他(純額)	674,528	669,255
有形固定資産合計	1,637,713	1,632,440
無形固定資産	156,298	148,664
投資その他の資産	481,731	473,916
固定資産合計	2,275,743	2,255,021
資産合計	8,700,135	8,458,257
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	662,768	626,969
短期借入金	184,400	54,400
未払法人税等	142,997	160,678
賞与引当金	216,880	205,785
役員賞与引当金	34,300	—
受注損失引当金	—	3,337
その他	940,634	796,845
流動負債合計	2,181,980	1,848,016
固定負債		
社債	840,000	790,000
長期借入金	538,800	531,600
退職給付引当金	121,486	114,987
長期未払金	109,155	117,437
その他	161,907	162,050
固定負債合計	1,771,349	1,716,076
負債合計	3,953,329	3,564,092

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	910,000	910,000
資本剰余金	1,177,500	1,177,500
利益剰余金	2,828,230	2,988,241
自己株式	△196,785	△197,328
株主資本合計	4,718,945	4,878,414
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,860	15,750
その他の包括利益累計額合計	27,860	15,750
純資産合計	4,746,806	4,894,164
負債純資産合計	8,700,135	8,458,257

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	2,961,716	3,035,431
売上原価	1,759,373	1,745,997
売上総利益	1,202,343	1,289,433
販売費及び一般管理費	797,600	874,293
営業利益	404,743	415,139
営業外収益		
受取利息	362	656
受取配当金	2,874	11,453
部品売却益	1,537	—
その他	5,679	5,346
営業外収益合計	10,453	17,456
営業外費用		
支払利息	17,409	16,829
売上割引	3,887	4,563
その他	3,898	3,769
営業外費用合計	25,195	25,161
経常利益	390,001	407,433
特別利益		
固定資産売却益	648	—
特別利益合計	648	—
特別損失		
固定資産除却損	15	1
投資有価証券評価損	—	877
特別損失合計	15	879
税金等調整前四半期純利益	390,634	406,554
法人税、住民税及び事業税	185,780	156,200
法人税等調整額	△18,858	2,963
法人税等合計	166,921	159,163
四半期純利益	223,712	247,390

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
四半期純利益	223,712	247,390
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,869	△12,059
その他の包括利益合計	△3,869	△12,059
四半期包括利益	219,843	235,330
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	219,843	235,330
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	390,634	406,554
減価償却費	116,289	115,576
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9,924	△7,378
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	33,712	3,337
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	△6,800	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,407	△11,095
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△33,195	△34,300
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△8,996	△6,498
受取利息及び受取配当金	△3,237	△12,109
支払利息	17,409	16,829
有形固定資産売却損益 (△は益)	△648	—
有形固定資産除却損	15	1
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	877
長期未払金の増減額 (△は減少)	△18,162	8,282
売上債権の増減額 (△は増加)	836,009	599,661
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△346,177	△345,875
仕入債務の増減額 (△は減少)	△165,497	△36,087
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△42,255	△37,415
その他	3,887	△76,018
小計	756,655	584,341
利息及び配当金の受取額	3,237	12,109
利息の支払額	△20,335	△19,448
法人税等の支払額	△413,986	△138,832
営業活動によるキャッシュ・フロー	325,570	438,170
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△400,000	—
有形固定資産の取得による支出	△76,703	△51,653
有形固定資産の売却による収入	680	—
無形固定資産の取得による支出	△56,187	△46,803
投資有価証券の取得による支出	—	△5,277
その他の支出	△642	△1,539
その他の収入	323	552
投資活動によるキャッシュ・フロー	△532,530	△104,721

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△11,941	△4,562
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△130,000
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△7,200	△7,200
社債の償還による支出	△62,500	△62,500
自己株式の取得による支出	△400	△543
配当金の支払額	△87,023	△87,427
財務活動によるキャッシュ・フロー	130,934	△292,233
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△76,024	41,215
現金及び現金同等物の期首残高	634,197	463,969
現金及び現金同等物の四半期末残高	558,172	505,185

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。